

# 平成28年度 益子町決算概要

## 1. 全会計について



平成28年度の益子町の全会計（一般会計及び5つの特別会計）の歳入総額は149億1,829万6,069円、歳出総額は142億6,333万2,825円で、歳入歳出差引額は6億5,496万3,244円となっており、平成27年度決算額と比較しますと、歳入において3億5,145万6,896円（2.4%）、歳出では4億1,875万9,244円（3.0%）の増額となりました。

単位:円、%

会計名		平成28年度決算額	平成27年度決算額	増減額	増減率
一般会計	歳入	9,311,651,344	8,683,057,086	628,594,258	7.2
	歳出	8,805,339,620	8,032,024,744	773,314,876	9.6
	差引額	506,311,724	651,032,342	△144,720,618	△22.2
国民健康保険特別会計	歳入	3,259,504,489	3,312,302,008	△52,797,519	△1.6
	歳出	3,202,705,670	3,271,148,681	△68,443,011	△2.1
	差引額	56,798,819	41,153,327	15,645,492	38.0
後期高齢者医療特別会計	歳入	183,385,290	176,659,758	6,725,532	3.8
	歳出	182,402,103	175,740,206	6,661,897	3.8
	差引額	983,187	919,552	63,635	6.9
介護保険特別会計	歳入	1,494,376,611	1,453,930,426	40,446,185	2.8
	歳出	1,416,009,402	1,433,256,030	△17,246,628	△1.2
	差引額	78,367,209	20,674,396	57,692,813	279.1
公共下水道事業特別会計	歳入	564,278,729	838,350,040	△274,071,311	△32.7
	歳出	558,087,315	833,823,713	△275,736,398	△33.1
	差引額	6,191,414	4,526,327	1,665,087	36.8
農業集落排水事業特別会計	歳入	105,099,606	102,539,855	2,559,751	2.5
	歳出	98,788,715	98,580,207	208,508	0.2
	差引額	6,310,891	3,959,648	2,351,243	59.4
合計	歳入	14,918,296,069	14,566,839,173	351,456,896	2.4
	歳出	14,263,332,825	13,844,573,581	418,759,244	3.0
	差引額	654,963,244	722,265,592	△67,302,348	△9.3

\*平成28年度決算書は、役場・中央公民館・改善センター・あぐり館に備え付けてありますのでご参照ください。

## 2. 一般会計決算について

### (1) 概要

平成 28 年度の一般会計の歳入総額は 93 億 1,165 万 1 千円、歳出総額 88 億 533 万 9 千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は 5 億 631 万 2 千円となりました。

形式収支から翌年度に繰り越すべき財源 4,447 万 3 千円を控除した実質収支は 4 億 6,183 万 9 千円の黒字となっており、このうち 2 億 4,000 万円を財政調整基金に積み立てし、残額は平成 29 年度への繰越金としました。

単年度収支については、前年度の実質収支額（3 億 4,159 万 4 千円）を上回ったことにより 1 億 2,024 万 5 千円の黒字となりましたが、実質単年度収支については、財政調整基金取崩（3 億 2,700 万円）の影響により、△2 億 599 万 3 千円の赤字となりました。



### (2) 主要な財務指標と町債・基金残高

財政状態を示す財政指標のうち、**経常収支比率**<sup>注1</sup>は 85.2%と前年度を 2.8 ポイント上回りました。主な要因は、昨年度に比べ普通交付税及び地方消費税交付金が減少したことによります。**実質公債費比率**<sup>注2</sup>については 6.7%で前年度から 0.7 ポイント好転しました。また、**将来負担比率**<sup>注3</sup>は 53.0%で前年度から 10.0 ポイント上回りました。主な要因は、地方債現在高の増加及び財政調整基金等の基金残高の減少によります。

#### 注 1：経常収支比率

人件費・扶助費などの経常的経費に町税・普通交付税などの経常的収入がどの程度充当されているかにより、財政構造の弾力性を測る比率。この率が低いほど、様々な事業に使えるお金の余裕があることになる。

#### 注 2：実質公債費比率

公債費や公営企業債への繰出金など公債費に準じるものを含めた実質的な公債費相当額に充当された一般財源の標準財政規模に占める割合の前 3 年度の平均値。18%以上になると国の許可、25%以上では国から地方債の発行が制限されることとなる。

#### 注 3：将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率。この比率が高い場合、将来これらの負担額を実際に支払う必要があることから、今後の財政運営が圧迫されるなどの問題が生じる可能性が高くなる。

平成 28 年度末の町債残高は、70 億 9,581 万 3 千円で前年度末より 9,623 万 7 千円増加しました。町債のうち臨時財政対策債は、その償還額について後年度における国からの財政措置<sup>注 4</sup>があるものの、平成 28 年度末の残高が 41 億 4,721 万円と町債残高の 58.4%を占めている状況です。

一方、財政調整基金残高は、前年度から△1 億 4,623 万 8 千円減少の 10 億 6,998 万 5 千円となりました。これは、平成 27 年度決算剰余金を積立し（1 億 8,000 万円）、歳出削減や国県補助金等の特定財源の確保により基金の取り崩し（3 億 2,700 万円の取り崩し）を極力抑えましたが、減少となりました。

### （3） 歳入と歳出

歳入のうち、自主財源は 36 億 2,294 万 8 千円（比率：39.0%）で、前年度と比較しますと額で 4 億 5,485 万 4 千円の増、率では 2.4 ポイントの増となりました。また、依存財源は 56 億 8,870 万 3 千円（比率：61.0%）で、前年度対比で 1 億 7,374 万円の増、率では 2.4 ポイントの減となりました。自主財源においては、繰越金（前年度比+1 億 5,325 万 2 千円）、繰入金（前年比+2 億 1,782 万 2 千円）、町税（前年比+6,679 万 7 千円）等が増加し、依存財源においては県支出金（前年度比+9,786 万 1 千円、町債（前年度比+1 億 7,463 万 8 千円）等が増加し、国庫支出金（前年度比△6,062 万 8 千円）、地方消費税交付金（前年度比△4,880 万 1 千円）等が減少しています。

歳出のうち消費的経費は 70 億 5,847 万 3 千円で、前年度対比 8,205 万 4 千円の増、率では 6.6 ポイントの減となりました。主な要因としては、子育て応援手当や認定こども園に対する施設型給付費負担金等の増額によるものです。投資的経費は 17 億 4,686 万 6 千円で、前年度対比 6 億 9,126 万円の増、率では 6.6 ポイントの増となっており、これは、道の駅整備事業、七井小学校屋外プール改築工事等の増によるものです。

#### 注 4：国からの財政措置

臨時財政対策債は、実際の借入れの有無にかかわらず、その元利償還金相当額を地方交付税における基準財政需要額の公債費に算入されることとなっている。



## 平成 28 年度の主な事業

障がい者（児）扶助	5 億 3,770 万円
臨時福祉給付金給付事業	7,835 万円
高齢者扶助	1,898 万円
子育て応援手当	3,441 万円
民間保育所運営補助事業	4 億 7,935 万円
認定こども園運営費負担金	2 億 6,189 万円
児童手当	3 億 7,551 万円
こども医療費助成事業	6,849 万円
道の駅整備事業	8 億 1,308 万円
担い手確保・経営強化支援事業	5,281 万円
芳賀台地土地改良事業負担金	5,650 万円
多面的機能支払交付金事業補助金	7,679 万円
平成館改修工事	3,116 万円
旧濱田邸茅葺屋根改修工事	2,395 万円
道路改良・舗装・修繕工事	1 億 8,884 万円
消防ポンプ自動車購入	5,139 万円
七井小学校屋外プール改築工事	1 億 3,218 万円



平成28年度一般会計歳入歳出決算

(単位:千円、%)

歳 入			歳 出		
区 分	金 額	構成比	区 分	金 額	構成比
○ 自主財源	3,622,948	39.0	○ 消費的経費	7,058,473	80.2
町税	2,399,539	25.8	補助費等	1,362,015	15.5
繰越金	394,576	4.2	扶助費	2,025,570	23.0
繰入金	519,727	5.6	人件費	1,232,188	14.0
分担金及び負担金	90,725	1.0	繰出金	764,391	8.7
寄附金	38,309	0.4	公債費	696,089	7.9
諸収入	106,719	1.2	物件費	880,822	10.0
使用料及び手数料	53,850	0.6	積立金	39,328	0.5
財産収入	19,503	0.2	維持補修費	28,070	0.3
○ 依存財源	5,688,703	61.0	貸付金、投資及び出資金	30,000	0.3
地方交付税	2,245,551	24.1	○ 投資的経費	1,746,866	19.8
国庫支出金	1,255,213	13.5	普通建設事業費	1,740,502	19.7
県支出金	883,724	9.5	災害復旧事業費	6,364	0.1
町債	733,369	7.9	失業対策事業費	0	0.0
地方消費税交付金	375,487	4.0			
地方譲与税	89,421	1.0			
ゴルフ場利用税交付金	56,845	0.6			
自動車取得税交付金	21,156	0.2			
株式等譲渡所得割交付金	4,463	0.0			
地方特例交付金	12,281	0.1			
配当割交付金	7,728	0.1			
利子割交付金	2,012	0.0			
交通安全対策特別交付金	1,453	0.0			
歳入合計	9,311,651	100.0	歳出合計	8,805,339	100.0

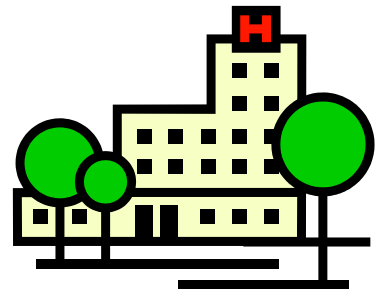




### 3. 国民健康保険特別会計決算概要

平成 28 年度の国民健康保険特別会計の歳入総額は 32 億 5,950 万 4 千円、歳出総額は 32 億 270 万 6 千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は 5,679 万 8 千円となりました。このうち 2,900 万円を財政調整基金に積立し、残額は平成 29 年度への繰越金としています。前年度と比較しますと、歳入は△5,279 万 8 千円（△1.6%）、歳出は△6,844 万 3 千円（△2.1%）とそれぞれ減額となりました。歳入では、繰入金が△3,881 万 4 千円、国庫支出金が△3,224 万 8 千円、共同事業交付金が△1,967 万 7 千円減少し、歳出では、保険給付費が△2,245 万円、後期高齢者支援金が△2,110 万 6 千円減少しています。

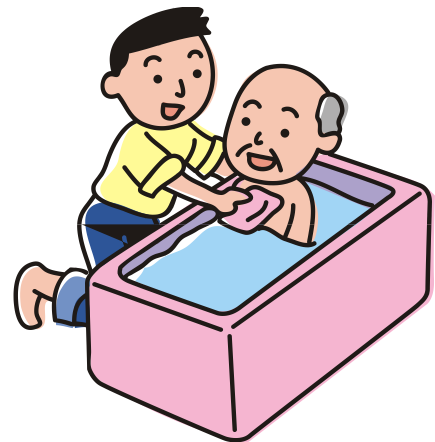
なお、保険税の収納率は 70.4%で、前年度と同率となっております。



### 4. 後期高齢者医療特別会計決算概要

平成 28 年度の後期高齢者医療特別会計の歳入総額は 1 億 8,338 万 5 千円、歳出総額は 1 億 8,240 万 2 千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は 98 万 3 千円となりました。前年度と比較しますと、歳入は 672 万 6 千円（3.8%）、歳出は 666 万 2 千円（3.8%）とそれぞれ増額となりました。歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料 1 億 2,559 万 5 千円で歳入の 68.5%、一般会計からの繰入金が 5,647 万 9 千円で歳入の 30.8%を占めています。歳出では、後期高齢者医療広域連合への納付金が 1 億 7,913 万 2 千円で歳出の 98.2%を占めています。

なお、保険料の収納率は 99.1%で、前年度から 0.3 ポイント減少しました。



### 5. 介護保険特別会計概要

平成 28 年度の介護保険特別会計の歳入総額は 14 億 9,437 万 7 千円、歳出総額は 14 億 1,601 万円で、歳入歳出差引額（形式収支）は 7,836 万 7 千円となりました。前年度と比較しますと、歳入は 4,044 万 6 千円（2.8%）の増額となり、歳出は△1,724 万 7 千円（△1.2%）の減額となりました。

歳入の主なものは国庫支出金が 5 億 2,514 万 3 千円で歳入の 35.1%、介護保険料が 3 億 4,035 万 2 千円で歳入の 22.8%を占めています。歳出は保険給付費が 13 億 2,037 万 6 千円で歳出の 93.2%を占めています。

なお、保険料の収納率は 97.8%で、前年度から 0.3 ポイント改善しました。

## 6. 公共下水道事業特別会計概要

平成 28 年度の公共下水道事業特別会計の歳入総額は 5 億 6,427 万 9 千円、歳出総額は 5 億 5,808 万 7 千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は 619 万 2 千円となりました。前年度と比較しますと歳入△2 億 7,407 万 1 千円（△32.7%）、歳出は△2 億 7,573 万 6 千円（△33.1%）とそれぞれ減額となっております。歳入では町債が△1 億 1,420 万円、繰入金が△4,698 万円、国庫支出金が△1 億 1,812 万円減少し、歳出では、公共下水道事業費が△2 億 6,860 万 6 千円減少しております。

また、平成 29 年 3 月 31 日現在における水洗化率は、74.4%（処理区域内人口：4,377 人、水洗化人口：3,255 人）でした。

なお、使用料の収納率は、99.5%でした。



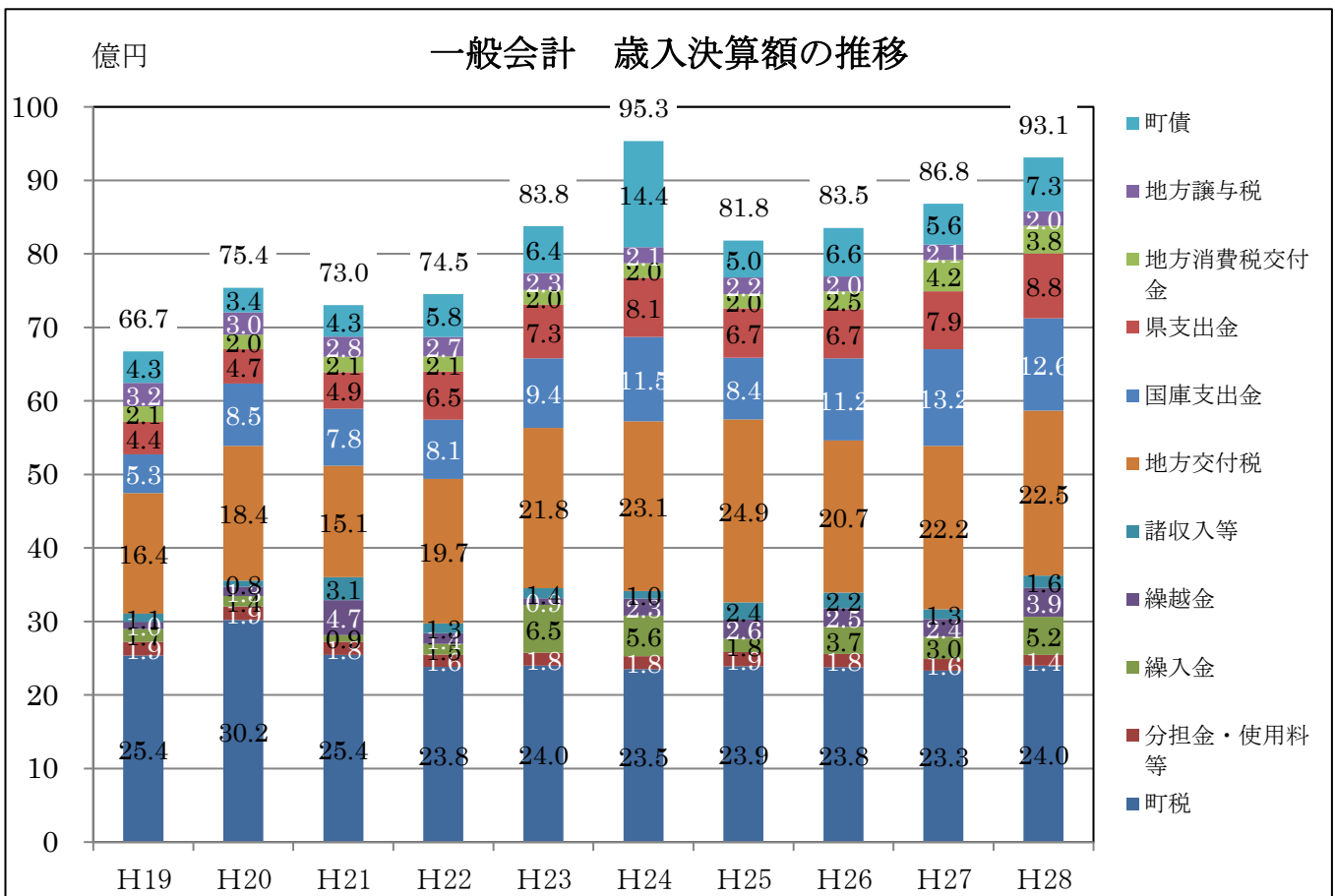
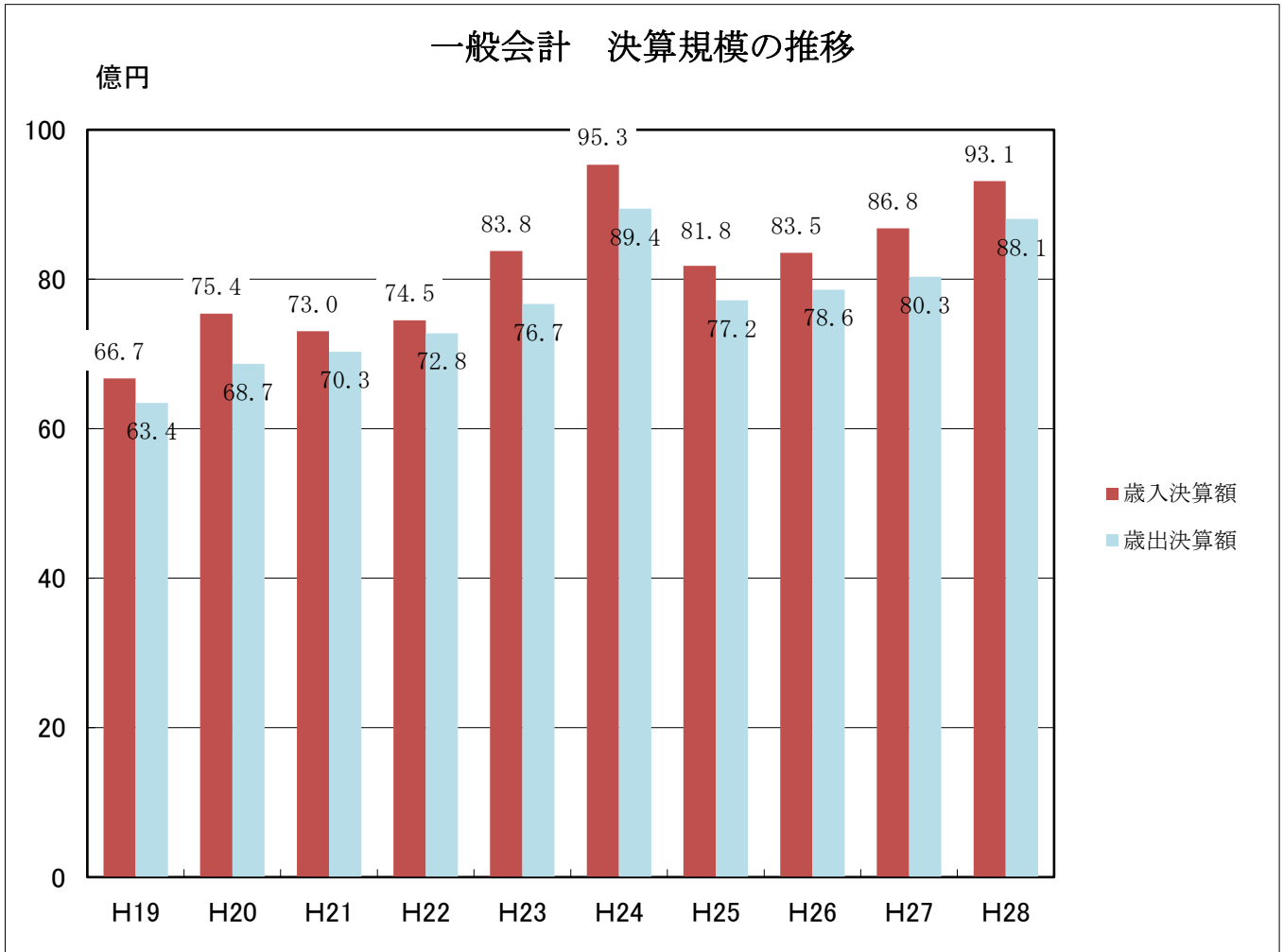
## 7. 農業集落排水事業特別会計概要

平成 28 年度の農業集落排水事業特別会計の歳入総額は 1 億 510 万円、歳出総額は 9,878 万 9 千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は 631 万 1 千円となりました。前年度と比較しますと歳入は 256 万円（2.5%）、歳出は 20 万 9 千円（0.2%）とそれぞれ増額となっております。歳入では、東京電力賠償金の支払いにより、諸収入が 239 万 3 千円増加しております。

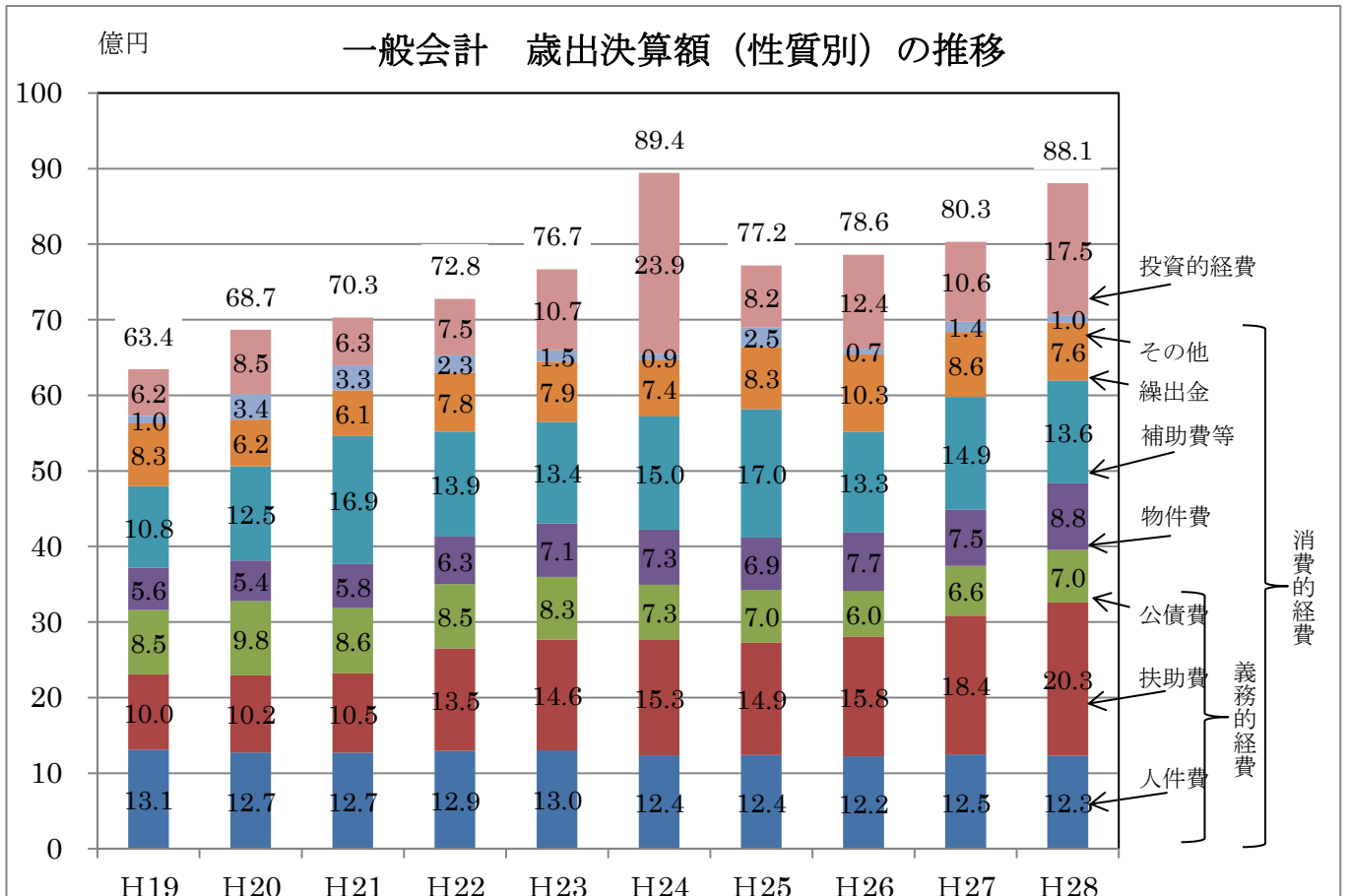
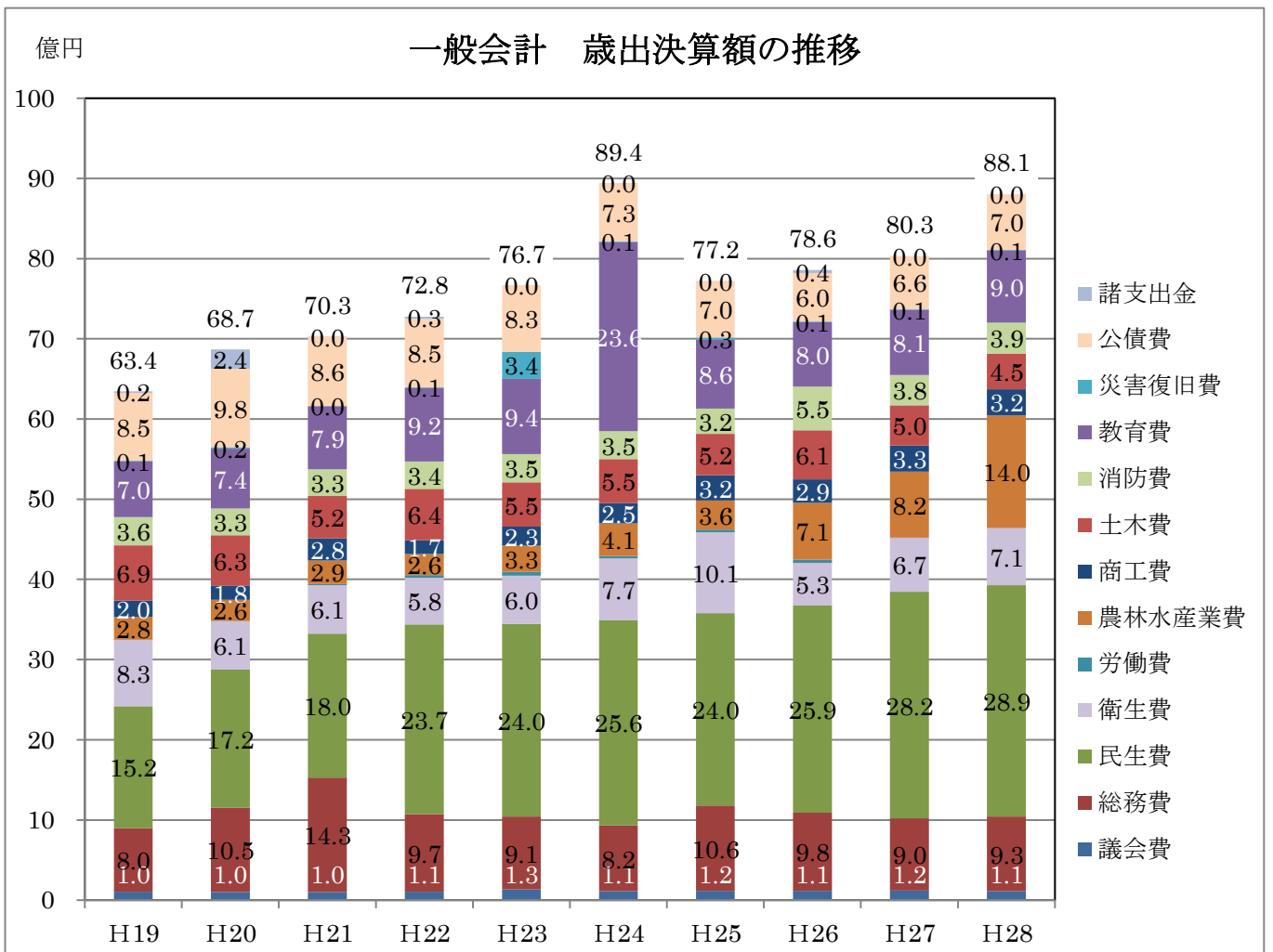
なお、使用料の収納率は、97.1%でした。

# 過去10年の一般会計決算に関するグラフ

計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがあります。

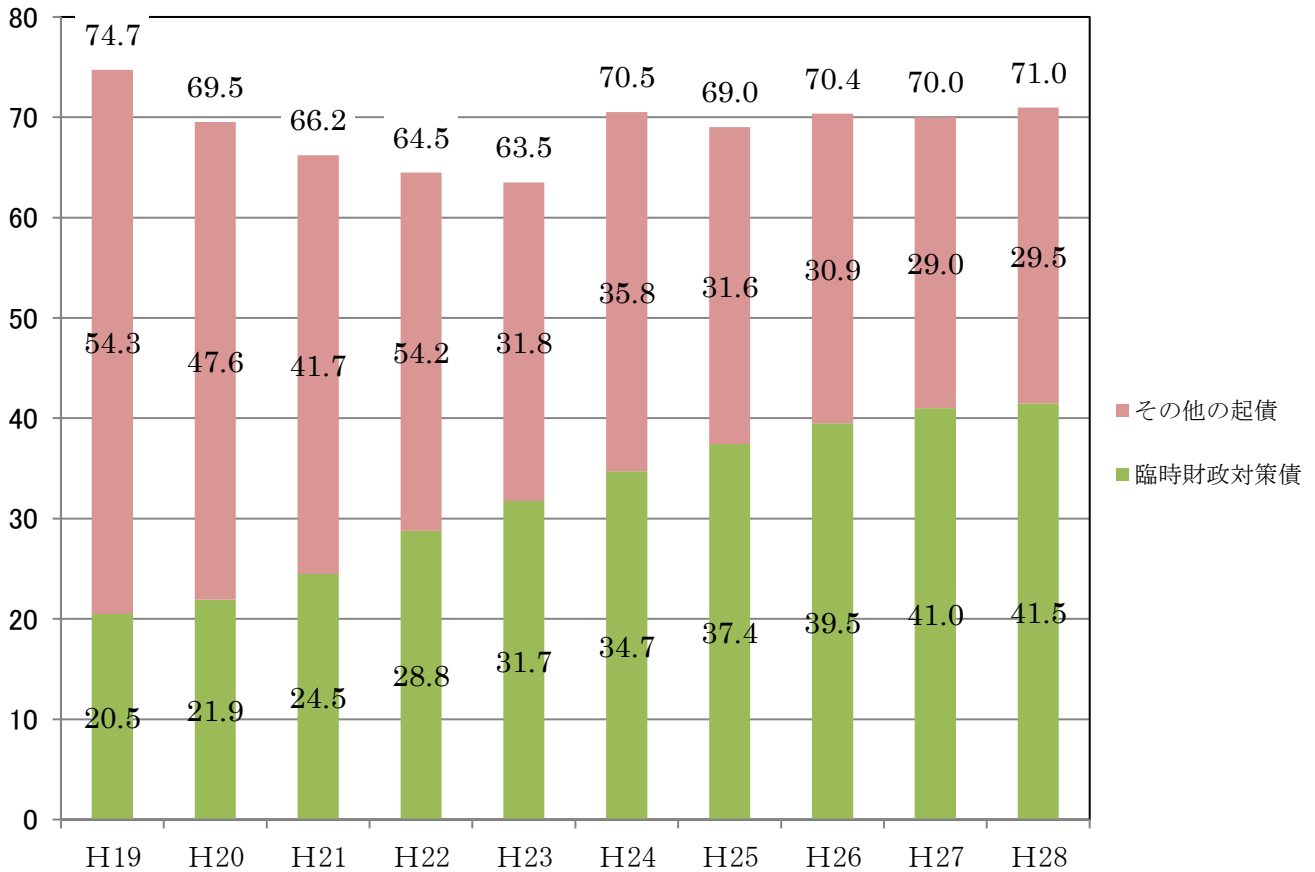






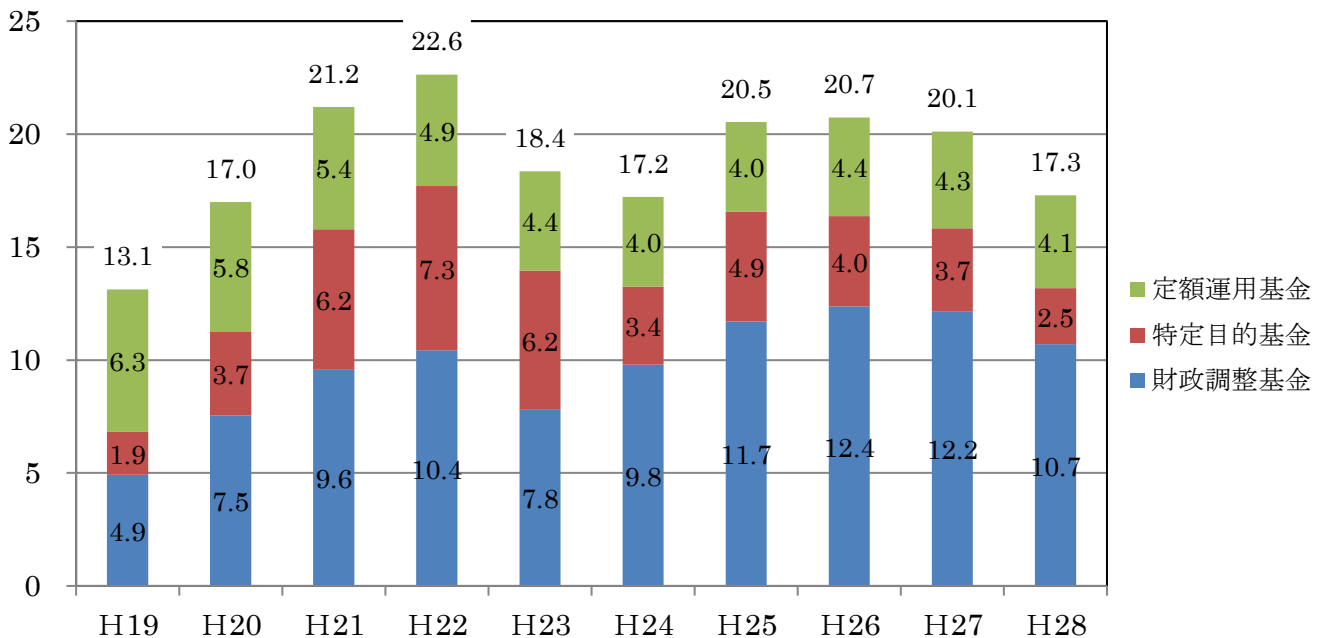
億円

### 町債残高の推移（一般会計）



億円

### 基金残高の推移（一般会計）



定額運用基金・・・定額の資金を運用（歳出・歳入予算とは無関係に基金から直接貸し付け・償還等弾力的に回転運用）するための基金（奨学基金、大塚実基金、土地開発基金、郵便切手類等購買基金）

特定目的基金・・・財産の維持、資金の積立のための基金（減債基金、ふるさとづくり基金、学校整備基金、教育振興基金、地域福祉基金、東日本大震災復興推進基金）

財政調整基金・・・年度間の財源の不均衡を調整するための基金